

令和8年2月27日(金)

## チーム学校で進める幼小連携 4月のスタートに向けて

新一年生を迎えるにあたって  
学校でどんな取り組みをしていますか。  
どんなことでもかまいません。  
チャットに打ち込んでみてください。

香川大学教育学部  
附属坂出小学校

## 本日のワークショップの流れ

- 17:15~ はじめに
- 17:20~ それぞれの小学校の実践について意見交換  
参加の先生方から  
附属坂出小学校の取り組み
- 18:15~ スタートカリキュラムの見直しタイム
- 18:35~ これからやってみたいこと
- 18:40~ 終わりに

## 幼小連携とは???

幼小連携  
幼小接続  
保こ幼小  
スタートカリキュラム  
幼保小の架け橋プログラム  
架け橋期のカリキュラム

## 2月から3月にかけて

### 小学校では

- 入学周知会
- 小学校体験
- 入学児童の在籍する 幼稚園・保育所等 情報収集
- 要録の送付

### 新1年生入学の準備を進めていく時期



## 学校の取り組みを話しましょう

- 参加者の先生から
- 附属坂出小学校の取り組みから



生活科 1年生と一緒に  
おかしあそびにチャレンジ



体育科 5年生と一緒に  
長縄跳びに挑戦

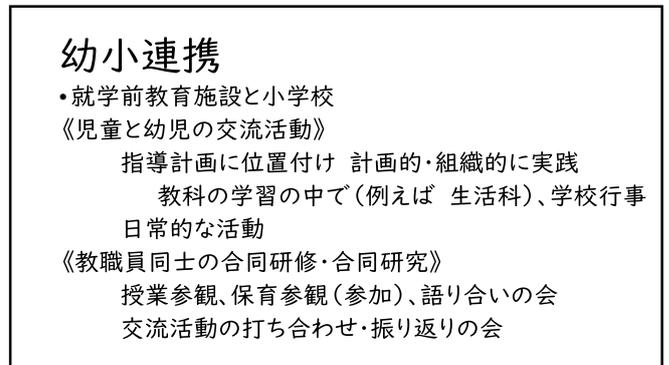


幼稚園の行事(生活発表会)を参観  
5歳児の子どもの育ちに気が付きました。



幼稚園の保育参観  
子どもの遊びや環境を学びました

幼稚園の研修に参加  
幼児教育の理解を深めました



## 幼小接続

- 幼児期の教育と小学校教育  
乳幼児期の育ちや学びを 小学校教育につなぐ

小学校学習指導要領第1章総則 第2 教育課程の編成  
幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにする

## 幼小の取り組みの現状

- 小学校では
- 交流活動等を通して 幼小の連携の推進
  - 幼児期の教育(遊び、環境を通じた教育等)理解
  - スタートカリキュラムの実施

- 一方で
- たくさんの施設から入学してくる児童がいるので・・・
  - 他にもやらなければならないことがたくさんある

幼稚園・保育所・こども園等では



幼児期に遊びを通して育まれた資質・能力が、小学校での教育につながってほしい。

ひとり一人の子ども良さや学びの特性について小学校に伝えていきたい。



- 温度差(幼小、教職員、学校間、地域)
- 管理職の意識が重要

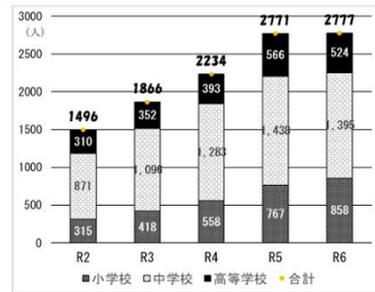
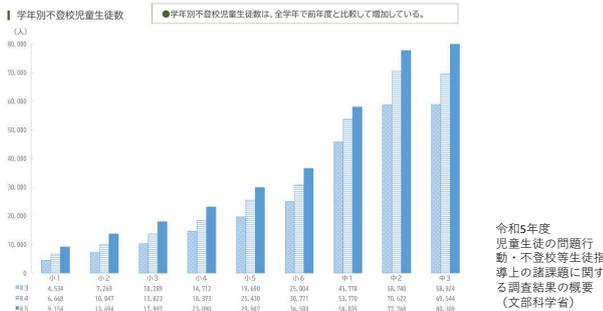


図 不登校児童生徒数の推移

令和6年度 生徒指導上の諸課題の状況について (香川県教育委員会)

## 小・中学校における不登校の状況について



## ある小学校の校長先生

幼保小の架け橋プログラムは、私の学校における教育活動の柱であり、文化です。

## 幼保小の架け橋プログラム

- 学びや生活の基盤をつくる幼児教育と小学校教育の接続について
- 幼保小の協働による架け橋期の教育の充実～(令和5年2月)

子供に関わる大人が立場を越えて連携し、架け橋期(義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生の2年間)にふさわしい主体的・対話的で深い学びの実現を図り、一人一人の多様性に配慮した上で全ての子供に学びや生活の基盤を育むことを目指すもの

## これからの幼保小接続 ～幼保小の架け橋プログラム～

	これまで	これから
目的	小学校への順応	学びの連続 カリキュラム
内容	交流活動	カリキュラム編成
期間	数か月 スタートカリキュラム いっしょ アプローチあそびあそび	2年(架け橋期)
実施単位	施設単位	地域単位 体制

[令和6年度 幼児教育香川県研究協議会]  
学びをつなぐ～これからの幼保小連携・接続～より  
文部科学省 初等中等教育局 視学官 横山 真貴子

高松っ子の学びをつなぐ  
Step Guide Book  
(令和7年2月)  
高松市教育委員会

### Step1

まずは連絡・気軽に対話 共に育てたい子どもの姿を伝え合おう

### Step2

互恵性のある交流をしよう

### Step3

子どもの学びを共有しよう 架け橋期のカリキュラムを考えよう

### Step4

持続可能な連携・接続 地域の子どもを共に育てよう

みんなでつなぐ高松っ子の学び (令和7年2月) 高松市教育委員会

### 3-(2) 開発会議で開発する架け橋期のカリキュラムのイメージ

○架け橋期のカリキュラムについては、幼保小の先生が協働し、共通の視点を持って教育課程や指導計画等を具体化できるよう、「幼児期の終わりに育ってほしい姿」を事前かりとし、育成を目指す資質・能力を視野に入れながら編成できるよう工夫する。そして、幼保小の先生が一層に集約して詳細し、改善・発展させていく。

○自治体や園・小学校での工夫を促しつつ、例えば、下記のような共通の視点を確認して決めることが考えられる。

	0歳～	5歳児	小学校1年生	小学校2年生～
共通の視点として考えられる項目例	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3		
①期待する子供像				
②遊びや学びの場				
③園で実施した活動				
④園外での連携				
⑤子供の交流				
⑥家庭や地域との連携				

カリキュラムを開発することが目的ではありません。地域でカリキュラムを開発をすることを通して、共に0歳から18歳までの教育について考えることが大切です。

(※) 以下「構成員の構成・環境づくり」という。 幼保小の架け橋のプログラムの実施に向けての手引き (文部科学省)

## 4月のスタートに向けて

- ①入学してくる児童の情報収集
- ②スタートカリキュラムの見直し
- ③小学校1年生の教育の工夫

※ チーム学校で取り組む

## ①入学してくる児童の情報収集

- 本当はこれまでに・・・
- 保育施設の訪問 園での様子を参観  
園の教職員から話を聞く
- 配慮を要する子ども 特に丁寧に  
保護者との面談も
- 保育施設から送付された要録  
目を通す

ちょこっと参観

ちょこっと交流

ちょこっとおしゃべり

## ②スタートカリキュラムの見直し

- 本当はスタート期を終えた夏休み等に・・・
- やること(やらせること)のみの記入  
 → 子どもの実態を踏まえた  
 気付き・反省・工夫・提案等 メモ

新1年生は思っている以上に緊張・不安な気持ち  
 重要なのは、安心感・わくわく・友達

## ③1年生の教育環境の工夫

学ぶことが楽しい。  
 明日も小学校に行きたい。

- 教室の環境
- 学びの場づくり
- 教師の姿勢 等



これまでの小学校教育の当たり前を見直し、工夫できることがいっぱい

## 見直しのヒントは幼児教育に



廊下やベランダなど、学校のいろいろなところが学びの場になります。

机を片付けて、丸く座るとみんなの顔が見えます。

モノを準備することにより、「やってみよう」気持ちを引き出します。



**行重カ** 環境設定の工夫

材料を重なりはけず、壁に、床の面、壁の自然に目に入りに

壁をどう使うか

## チーム学校で取り組む

- 1年生担任だけの仕事ですか？
- 教師の構えが変わることで、1年生の教育が変わる。
- 1年生の教育が変わることで、学校全体の教育が変わる。
- 学校全体の教育が変わることで、家庭や地域の教育が変わる。
- 地域の子どもたちを共に育てていきましょう

## スタートカリキュラム見直しタイム

- 私の小学校のスタートカリキュラム

安心感

わくわく

友達

キーワードにして見直してみましょう  
 意見交換しましょう

2026年度					2025年度				
月	1	2	3	4	月	1	2	3	4
1				入学式					
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									

明日から、  
学校の一員として取り組みたいこと

香川大学教育学部附属高松小学校

### こんな研修はいかがですか

- 研修先づくりからサポート**  
※研修先がなくても大丈夫です！
- 校内授業のサポート**  
※研修先がなくても大丈夫です！
- 出張ワークショップ（出張先も大丈夫！）**  
※出張先も大丈夫です！
- 出張ワークショップ（出張先も大丈夫！）**  
※出張先も大丈夫です！

お問い合わせ先：香川大学教育学部附属高松小学校  
〒760-0802 香川県高松市東山町1-1-1  
TEL: 0877-84-2492 E-mail: [info@shikoku-u.ac.jp](mailto:info@shikoku-u.ac.jp)

第1回 高松小 おくわくワークショップ

入学式

お花見

4.11 香川大学教育学部附属高松小学校 創立50周年記念行事



### アンケートのお願い



ご参加いただいた皆様の声を基に、今後のワークショップをより充実させていきたいと考えております。アンケートにご協力ください。忌憚のないご意見をどうぞよろしくお願いいたします。

こちらから読み取ることができます